

## 8月定例記者会見会議録

平成30年8月7日（月）午前10時30分  
市役所2階 市議会第1委員会室

### 1. 市長からの発表

8月に入りました。

先日の台風12号では、強風や大雨により3,500世帯、8,555人に避難勧告を出し、延べ45人が小学校などへ避難しました。

また、市内で様々な被害があり、倒木や冠水で道路30ヶ所が通行止め、建物7棟が一部損壊、約4,300戸の停電や浄水場3ヶ所が停電し約130戸が断水しました。

ただ、今回は、人命にかかるような被害はありませんでした。

しかし、今後、台風などの災害には、不断の備えを続けることが大切です。

今年は異常な暑さが続いています。テレビや新聞などで、熱中症についてよく耳にします。市内でも、熱中症と思われる症状で救急搬送された人が今年は例年より増加しています。5月以降8月3日時点での速報値によると、一昨年32件、昨年40件、今年は90件と大きく増えています。

熱中症は、体温調節機能が働かなくなり、体温上昇、めまい、体がだるい、ひどい時には、痙攣や意識の異常など、様々な症状を引き起こします。気温や湿度が高い中での作業や運動のほか室内でも注意が必要です。

熱中症にならないように暑さを避け、こまめに水分を補給するなど、注意してください。特に高齢者や子どもには気をつけてください。

本日の私からの発表にもありますが、誰かの意識がなくなったり、倒れたりした時に、救急車が到着するまでの間、応急手当などができるよう、救命講習会にも参加していただくのも良いかと思えます。

各家庭で災害や熱中症、これらのことも話し合っただけならと思います。

さて、7月1日から9月30日までの3ヵ月間は、市内公共交通機関の維持・活性化等を目的に、「公共交通機関利用促進期間」として、利用促進に取り組んでいます。

鉄道やバスを利用する機会を増やすことで公共交通の維持・存続につながります。8月は公共交通機関利用促進の強化月間です。私も、1日早く先日の31日に四十九駅から伊賀鉄道に乗車しました。上野市駅までのわずかな時間ではありましたが、車窓からは、緑の山並みや風にそよぐ稲田の風景や、町のたたずまいなど、涼しい車内の時間を楽しむことができました。

普段は通勤やお出かけに、自動車やバイクをとという人も、是非この機会に公共交通機関を利用させていただきたいと思います。

本日の私からの発表は2つあります。

まず、資料No.1の「伊賀市若者会議（仮称）の設置及びメンバー募集について」についてです。

『伊賀市シティプロモーション指針』では、4つの重点取組の1つに「協働による事業の推進」を掲げており、市民の皆さんをはじめ、「産・官・学・金・労・言」といった地域のあらゆる主体を巻き込んだ形でのシティプロモーションの取り組みを進めています。

昨年度は、それに基づく具体的な取り組みとして、市民をはじめ伊賀市に縁のある人達が一堂に集い、伊賀市のミライについて語り合う場として「まちづくりラウンドテーブル」を開催しました。

たくさんの方に参加いただき、大変有意義なイベントになりましたが、一方で、メインターゲットとする、これから次代を担っていく若年世代の参加率は低い傾向でした。

こうした課題を踏まえ、自らが地域の担い手となり、より良い伊賀を創る意識と実行力を持った若者を発掘・育成することにより、市政への市民参画を促進し、伊賀市シティプロモーションをガバナンスの視点から効果的かつ持続的に推進するために、（仮称）伊賀市若者会議を設置することにしました。

この伊賀市若者会議では、メンバーになってもらう若者に、伊賀市が東京などで行うイベント活動への参画や市内高校及び市役所の若手職員との交流など実際に体験をしてもらいながら、自ら考え、そのアイデアを実践につなげられるような活動を行ってほしいと思います。

メンバーの募集についてです。募集期間は今日8月7日（火）から8月31日（金）まで。募集する人数は40人程度としています。

募集要件は、応募時点で高校生を除いて18歳以上35歳以下。市内に在住、在勤、在学または伊賀市に縁のある人で、任期は来年度末までの約1年半としています。

また、今回は、無作為に抽出した市内在住の該当者約3千人に対し、参加の案内をダイレクトメールで郵送しています。

若いチカラで伊賀市のミライを創っていくために、若者の皆さんの積極的な応募を待っています。

つづいて、資料No.2の、「救急の日 普通救命講習会の実施 『成人』と『小児・乳児』に対する応急手当」についてです。

「救急の日」は、救急医療及び救急業務に対する国民の正しい理解と認識を深め、かつ、救急医療関係者の意識の高揚を図るため昭和 57 年に設けられました。

伊賀市では、応急手当の技術を身に付ける普通救命講習会を、9月9日（日）に消防本部3階研修室で行います。

事故や病気などで意識がなくなり、呼吸ができなくなった人や、心臓が止まった人には、救急車が到着するまでの間に、一刻も早く適切な応急手当をしなければなりません。大切な命を守るため、心肺蘇生法と AED の使い方、異物除去や止血などの技術を身に付ける必要があります。

講習会では、「成人に対する心肺蘇生法」と「小児・乳児に対する心肺蘇生法」を同じ時間に行うため、どちらかを選んで申し込んでいただきます。

誰かが倒れた時、その近くにいる人が一刻も早く適切な応急手当が行えるように、多くの方に受講していただけたらと思います。

私からの発表は以上です。

## 2. 8月の主な行事予定

### (1) 「じんけん」パネル展

日 時 8月1日（水）～30日（木）  
午前8時30分～午後5時（平日のみ）  
※8月7日（火）・21日（火）は午後7時30分まで延長  
場 所 寺田教育集会所 第1学習室  
内 容 「原爆展」  
主催者 人権生活環境部 寺田市民館

### (2) いがまち人権センターパネル展

日 時 8月6日（月）～8月23日（木）  
午前9時～午後5時（平日のみ）  
※9日（木）は午後7時30分まで延長  
場 所 いがまち人権センターホール  
内 容 「原爆と人間」  
主催者 人権生活環境部 いがまち人権センター

### (3) ライトアップイベント「お城のまわり」について

日 時 8月11日（土）・12日（日）  
午後5時から午後9時まで

場 所 上野公園内及び、周辺施設  
内 容 上野公園内と周辺施設の歴史・文化的建造物等をライトアップし、夏の夕涼みのひとときを楽しんでもらう  
主催者 お城の周りライトアップイベント実施委員会

(4) みんなを活かす男性リーダー養成連続講座

「こんな男がいてもいいじゃないか塾」第2期生募集について  
日 時 10月2日(火)午後6時30分～2月12日(火)計5回  
開講式・「メディアを読み解き発信する！」  
場 所 ハイピア伊賀 4階 ミーティングルーム・調理室  
内 容 2回の調理実習を含む全5回連続講座  
申込期限 9月27日(木)  
主催者 人権生活環境部人権政策課男女共同参画係

(5) 子育て広場「にんにんパーク」イベント開催について・・・(資料No.7)

日 時 8月12日(日)・26日(日)・9月9日(日)  
午 前 10時～午前11時30分  
場 所 上野南公園「にんにんパーク」内  
伊賀市ゆめが丘七丁目13番地  
内 容 8月12日(日)「水ふうせんで遊ぼう」  
8月26日(日)「夏遊びを楽しもう！」  
9月9日(日)「にんにんパークで体を動かそう」  
主催者 健康福祉部こども未来課

### 3. その他

(1) 主な質疑応答

【消防団の個人口座の不適切管理について】

記 者：市長にお尋ねします。消防団の一部で報酬手当てを含む口座を他人がまとめて管理をし、他人が現金を引き出していることがわかりました。金融機関では、口座の受け渡しなどによって悪用されることが多くなってきて、本人確認などを厳しくなっています。消防団では、この様なことが続いていましたが、市長はどのような処分を考えていますか。

市 長：消防団は独自の組織です。ただ、ご指摘のようなことは、社会常識としていかなるものかと私は感じます。しっかりその辺のところは、

適正に管理していただくことは当然のことだと思います。昔消防団にいた方に聞いてみますと、通帳管理のため、個人口座の暗証番号と一緒にしていたような面もあったと聞いたことがあります。決して好ましいことではありませんので、適正な管理を徹底していただきたいと思います。

【全国学力学習状況調査の結果公表について】

記者：全国学力テストの数値、公表の件でお尋ねします。

昨年から伊賀市では、市内の平均正答率を整数値で公表するようになりましたが、全国平均との差が2ポイント以内を「ほぼ同じ」、2ポイントを超えて5ポイント以内（昨年は10ポイント以内）を「やや高い低い」の言葉の表現で評価を出しています。

一方で、昨年の名張市では、1ポイントでも上回った場合は「とどまっている」という表現をしています。

両方見た時に、褒める機会を放棄しているのか、大事な部分を伝えられていない印象を受けました。

市長は今の公表の仕方についてどう思われますか。

市長：以前は、ざっくりとした言葉での表現でありましたが、数字が出てきたことで、よりわかりやすくなりました。何が優れているのか、何が劣るのかということです。

名張市は、小数点以下まで公表していると聞いています。

より詳細な判断ができることは、それに勝るものは恐らくないだろうと思いますが、教育委員会の考えがあってやっていることで、より皆さんに理解され、有効な発表の仕方を研究していただければと思います。

ただ、結果について見ますと、小学校の時は良いけれど、中学生になってだんだん少し落ちてくるというようなことや、あるいは、AとBではBの応用ができないということが大変懸念されることであります。

そのようなことも含め、これからしっかりと子供たちの教育に関わっていただきたいと思っております。